

### 第3回北谷町地域公共交通会議 議事要旨

#### 【前回会議の概要】

- 運行実施計画（案）の決定について  
実証運行の実施に係る、運賃やルートの案について事務局より提案  
⇒協議の結果、ルート案の試走の提案等があり、再検討する必要が生じたため決定には至らず。
- 街頭ヒアリングの結果について  
イオン北谷やアメリカンビレッジへの来訪者及び西海岸の宿泊施設利用者を対象とした観光客の移動実態やコミュニティバスの導入にかかる利用意向を把握するための調査結果の報告  
⇒調査手法や分析手法、意向を踏まえた運行のあり方等についてご意見を頂戴した。
- 関係団体の意向聴取結果について  
町老人クラブ、町商工会、町観光協会、町社会福祉協議会を対象にコミュニティバス事業との協力・連携した取組等の意見聴取の結果報告。  
⇒コミュニティバス事業への意見や今後の連携・協力の可能性等についてご意見を頂戴した。

#### 【今後の調査方法・内容について】

- 第2弾の調査として例えばその時間帯だったら何分間隔が良いとかいう掴み方をされた方が良いのではないかと。今後、運行ダイヤの検討材料になる調査が必要だった場合には、その1時間半の間隔どうですかと聞くよりはターゲットに合わせて、例えば老人会だったらこの時間帯はこのダイヤ、間隔でよいですかとか、観光客だったらと、時間帯それぞれが違ったうえでのアンケートの方が良い。
- 交通弱者と高齢者にはアンケートでなく一緒に話を伺う場等、定期的にコミュニケーションをとる場を大事にして行ってほしい。

#### 【試走について】

- 試走については、皆さんに乗ってもらって多くの目でチェックしてもらえるように日時を調整する。雨の日の試走については、皆さんにすぐに集まってもらうことは厳しいため事務局の方で再度検討する。⇒「報告書 P.26」にて概要説明。

#### 【車両について】

- 車両については、ステップと手すりを必ず付ける形とする。ノンステップとは言わずドアを開けたらステップが出てくるような車両を今検討している。⇒想定車両の日産・NV350キャラバン（コミュニティバス仕様車）はドア開時に乗降用ステップが出てくる。（標準装備）

#### 【ルート・ダイヤについて】

- 既存バスと被っているルートは、目的地が違うから大丈夫ということではなく、途中で乗降されるお客さんもいるため、その辺も検討したうえで実施してほしい。  
⇒初乗り運賃は路線バスの方が安い。
- 今回はスモールスタートというのが一番大事なポイントであり、高齢者が目的地に行くのに一番効率的に運ぶのは端から乗ってもらって降りてもらうのが良いのではないかという考え方で今回作ったルートである。利用者の状況を見てルートや時間帯等を再構成するのが今回の実証実験の目的であり、固定的には考えていない。⇒年に1回程度の見直しを想定。
- スタート地点（西 or 東）についてはもう一度検討する。実際運行するまでにどちらが一番有効かを考えて決定する。⇒スタート地点（砂辺、北前）は変更しない。実際の利用者の意見等も踏まえつつ検討する。
- 普通の交通手段選択と考えたときに待ち時間が短いというのはすごく魅力であるため、路線バスのダイヤを見ながらその間にコミュニティバスが入ってくるような、且つ各施設のイベント等の時間に間に合うような形でダイヤを決めていくことが必要。  
⇒ダイヤについては、本意見も踏まえつつ委託事業者と調整し決定する。
- カバーしなければならない方々に対するポリシーのもとでまず運行計画を作ってそれで実験を行ってみた結果どうなったかというプロセスを踏んだ方が良い。  
⇒ダイヤは、平日8便（1.5h間隔）、土日祝日7便（午前1.5h間隔、午後2h間隔）で実証運行を実施し、その結果を反映させたい。

#### 【今後の課題について】

- 毎月の定期券や一日乗り放題券等、サービスの向上策についても今後検討していきたい。

#### 【今後の流れについて】

- 運行については来年1月を目処に準備を進めており、そこから1年ぐらい経過して各バス停の乗降の数や乗車の方のアンケート等を踏まえて、バス停の削減・追加、ルート変更等を1年ごとに検討していきたい。

#### 【その他】

- 現時点では、本格運行に係る業者選定の手法は決まっていない。

#### 【次回会議の開催日について】

- 次回会議の開催日は、7月または8月頃になる。それまでには業者を決め、運行実施計画の内容を固めて会議で諮りたい。